

社会福祉士相談援助実習の受け入れについて（ご案内）

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会

近年、福祉系大学の増加に伴い、実習希望が増えています。また、学生一人当たりの実習期間も長期化しております。

本会の実習受け入れについては、下記のとおり定めておりますのでご案内いたします。

- 1 実習期間
集中型 8月上旬～9月下旬
分散型 8月上旬～11月上旬
*いずれも本会が指定する24日間 (180時間以上)
- 2 実習形態 通所のみ
本会が指定する在宅福祉センター・点字図書館・児童館・安心サポートセンター等において、実習を行う。（同じ施設で24日間ではありません。）
- 3 定 員 5名まで
- 4 実習プログラム 別紙（平成23年度実施プログラム）参照
- 5 受け入れ手数料 1人1日あたり 2,000円以上
- 6 実習エントリー方法
① 実習エントリー書とともに、②志望動機「神戸市社会福祉協議会で実習を希望する理由・社会福祉協議会で学びたいこと等」（A4用紙・800字以内）を提出してください。
- 7 実習受入れの可否
エントリー書と志望動機により書類選考のうえ、後日あらためて本会よりご連絡いたします。お断りする場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 8 今後の手続
 - (1) 平成24年5月10日 実習エントリー受付締切 *随時書類選考のうえ回答
(ただし、応募多数の場合は受付締切日より前に受付を終了することがあります。)
 - (2) 平成24年6月 各大学との契約など事務手続き
 - (3) 平成24年7月 最終実習計画策定
 - (4) 平成24年8月～ 実習の実施

担当：神戸市社会福祉協議会総務部総務課 野村・三枝

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1番32号こうべ市民福祉交流センター4階

電話：078-271-5314 Fax:078-271-5366

URL:<http://www.with-kobe.or.jp> E-mail:soumu@with-kobe.or.jp

平成 年 月 日

神戸市社会福祉協議会 総務課 へ

平成 年度 社会福祉士相談援助実習 エントリー書

1. 大学・学校名 :
2. 代表者 : (印)
3. 実習ご担当者 :
4. ご連絡先 電話番号
FAX番号
E-MAIL

下記のとおり、実習の受入れを希望します。

記

1. 実習希望の学生の名前・学部・学科（所属）および学年（平成 年度4月現在）

2. 受入れ希望期間（いずれかに○をつけてください。）

- ① 集中型（8月上旬～9月下旬）
- ② 分散型（8月上旬～11月上旬）

*実習期間については、調整させていただきます。

3. 実習カリキュラムについて

新カリキュラム ・ 旧カリキュラム（いずれかに○をつけてください。）

4. 何日（何時間）の実習が必要ですか。 日（ 時間）

5. 1名につき実習委託費 円

6. 実習を希望されるにあたり、本会に対してご意見等があればご記入ください。

社会福祉相談援助実習プログラム

実習日数	実習先	専業主等	プログラム案		実習課題(ねらい)	
			8:45	12:00 17:30		
1日	市社協本部	オリエンテーション(各課事業説明)	8:45～8:55 オリエンテーション 8:55～9:30 市社協の概要 9:30～10:10 福祉事業1課 10:10～10:50 福祉事業2課 10:50～11:30 地域福祉課 11:30～12:10 市民福祉大学 13:10～13:50 広報交流課 13:50～14:30 安心サポートセンター 14:30～15:10 障害者スポーツ振興センター 15:10～15:50 点字図書館 15:50～16:30 総合児童センター(児童館含む) 16:30～	12:00	17:30	<ul style="list-style-type: none"> ・社協の使命、性格、活動原則、機能等に関する理解 ・社協の事業およびその方針・実績等に関する理解 ・現場実習先の理解
5日	点字図書館	<ul style="list-style-type: none"> ①図書貸出サービス ②中途失明者点字講習のアシスタント ③ブライベイトサービス(読み書き対面相談) 	<ul style="list-style-type: none"> ①点字・録音図書の出・返却業務 ②窓口カウンター業務 ①点字講習の講師補助 ②点字の成り立ちを学ぶ ①ボランティアの行うブライベイトサービスを体験 ②福祉施設におけるサービスを調べる 		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者の地域における生活を知る。 ・障害者とのコミュニケーション力を高める。 ・点字と視覚障害者との結びつきを知る。 ・ブライブリーについての理解を深める。 ・読書・情報提供を通じての生活援助を考える。 	
5日	児童館	<ul style="list-style-type: none"> ①児童健全育成事業 ・子ども育成事業 ②子育て支援事業 ・親子館事業 ③子育て支援事業 ・放課後児童クラブ(学童保育クラブ) 	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもへの遊び支援 ②親子館行事の見学 ③児童館行事の実践(計画～準備～実施～振り返り) ①児童健全育成事業(すこやかクラブ・キッズクラブ・なかよしひろば)の見学 ②親子館事業でのプログラムの部分実践 ③子育て支援事業 ・子どもへの遊び支援 ・子どもの宿題等の見守り ・おやつの手伝い、他 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童館行事や職員の子どもへの関わりを通じて、児童館での具体的な子どもへの個別的援助活動・集団援助活動方法を学ぶ。 ・子どもとの遊び(行事)や関わりに、子どもへの個別的援助、集団援助方法を実践する。 ・児童館が行っている在宅児童家庭支援活動の実践を学ぶとともに、親子館事業の役割を理解する。 ・親子館事業に参加している乳幼児親子への個別的援助、集団援助方法を学ぶ。 ・放課後児童クラブでの援助活動の実践を学ぶ。 	

社会福祉相談援助実習プログラム

実習日数	実習先	事業名等	プログラム案	実習課題(ねらい)
			8:45 12:00 17:30 ①利用者宅等を訪問する際(同行(調査訪問、契約、継続的支援など) ②ケース記録を読む ①ケース記録を読む ①利用者から財産を預かり、管理している入所施設を訪問し、施設の財産管理の状況を監査・指導・助言	援助計画作成について理解する。 成年後見制度について理解する。 住民への普及・啓発方法を理解する。 施設運営の実際、関係機関との役割と連携方法を理解する。
8日	安心サポートセンター	①福祉サービス利用援助事業 ②成年後見支援センター ③施設向け財産管理監査サービス	①社会福祉士を中心とした三職種職員との同行訪問 ②介護予防支援計画の作成 ③小地域連絡会など支援者がネットワークづくりを行う会議等への参加	①コミュニケーションスキルを理解し、利用者・家族との援助関係を形成する。 ②困難ケースに対する援助計画の組み立てと個別援助の実施を学ぶ。 ③さまざまな専門職の役割を理解し、チームアプローチのあり方を学ぶ。 ④民生委員を中心とした地域住民のかかわりを理解し、地域としての要介護者および家族への支援体制の状況を把握する。 ⑤虐待事例の援助体制を学ぶ。 ⑥対象を客観的に把握すべくアクセスメントの方法を理解する。 ⑦社会福祉士としての職業倫理を理解する。 ①地域見守り体制の実際を学ぶ。 ②見守り援助の信頼関係を築くための援助技術を学ぶ。 ③地域包括三職種職員とのかかわりを理解する。 ④地域福祉活動コーディネーター(各福祉協へ配置されている専門職)との連携を理解する。
5日	在宅福祉センター	①地域包括支援センター業務 ②見守り推進員業務	①社会福祉士を中心とした三職種職員との同行訪問 ②介護予防支援計画の作成 ③小地域連絡会など支援者がネットワークづくりを行う会議等への参加	①コミュニケーションスキルを理解し、利用者・家族との援助関係を形成する。 ②困難ケースに対する援助計画の組み立てと個別援助の実施を学ぶ。 ③さまざまな専門職の役割を理解し、チームアプローチのあり方を学ぶ。 ④民生委員を中心とした地域住民のかかわりを理解し、地域としての要介護者および家族への支援体制の状況を把握する。 ⑤虐待事例の援助体制を学ぶ。 ⑥対象を客観的に把握すべくアクセスメントの方法を理解する。 ⑦社会福祉士としての職業倫理を理解する。 ①地域見守り体制の実際を学ぶ。 ②見守り援助の信頼関係を築くための援助技術を学ぶ。 ③地域包括三職種職員とのかかわりを理解する。 ④地域福祉活動コーディネーター(各福祉協へ配置されている専門職)との連携を理解する。
24日				